ご　注　意

　地盤の許容応力度及び基礎杭の許容支持力は、国土交通大臣の定める方法によって地盤調査を行い、その結果に基づき定めなければならないと規定されています。(建築基準法施行令第９３条)

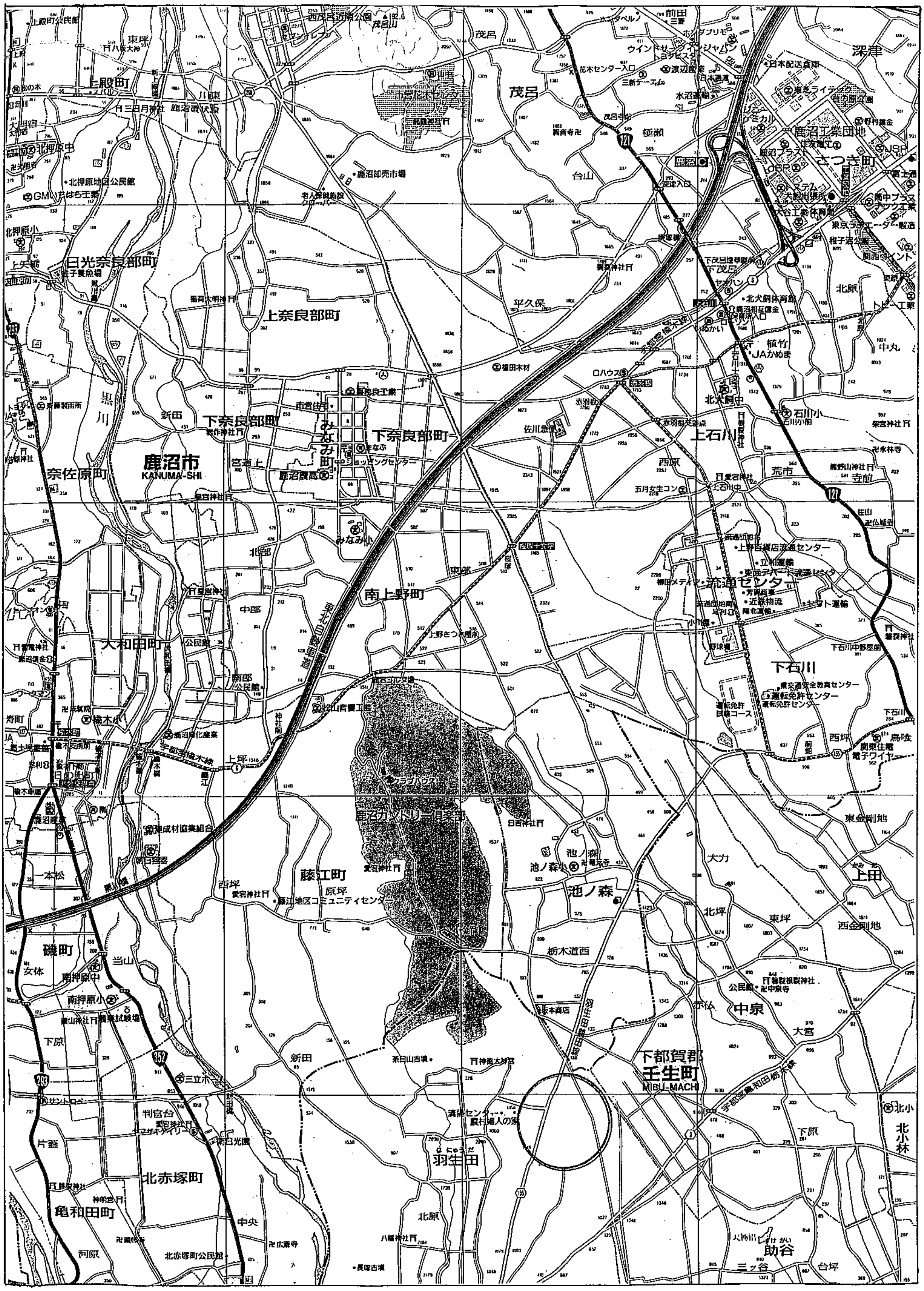
　地盤構成並びに各地層の性状は、場所ごとに千差万別であることから、敷地（状況においてはその周辺も含めて）の地盤調査によって地盤構成等を的確に把握し、その結果に基づいて建物をどの地層に支持させるかを決定する必要があります。

　したがって、本資料は計画段階における参考資料としてご活用ください。

栃木県土木部建築課

案内図

○……調査地



上殿町
日光奈良部町
上奈良部町
下奈良部町
鹿沼市
KANUMA-SHI
奈佐原町
大和田町
みなみ町
南上野町
茂呂
さつき町
鹿沼工業団地
深津
上石川
流通センター
下石川
藤江町
池ノ森
中泉
下都賀郡
壬生町
MIBU-MACHI
磯町
北赤塚町
亀和田町
羽生田
助谷
上田
鹿沼カントリー倶楽部

土質柱状図　　報告用紙

調査名・調査地点：新競馬場住居棟（世帯用）整備工事地質調査　　標高：95.961 m　　調査年月日：9年10月16日～年10月20日

ボーリング孔：№ 3　　孔内水位：GL－6.20 m　　調査担当者：

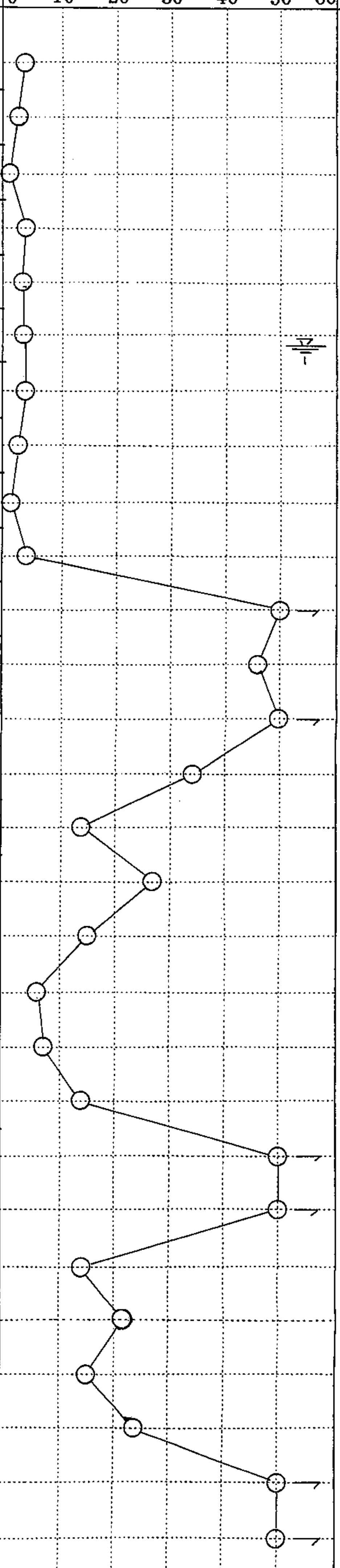
現場観察記録

標高 m	深さ m	層厚 m	土質名	色調	記事
95.31	0.65	0.65	表土	黒褐	ローム系粘性土. 腐植物,有機物混入 上部木の根多混入
94.06	1.90	1.25	ローム	茶灰	スコリア少混入. 粘性強い. 含水(中)
92.41	3.55	1.65	軽石	黄橙灰	粒径φ1～9mm. スコリア混入. 含水(大).
	4.60			暗茶灰	スコリア散在. 浮石点在. ~4.00m付近 凝灰質状呈し、若干多孔質. 部分的に粘性強い
	7.90			茶灰	~8.00m付近 浮石混入. 下層部若干シルト性帯びる.
	8.60			黄茶灰	
85.46	10.50	6.95	ローム	茶灰	浮石,スコリア多混入 含水(中～大).
80.71	15.25	4.75	粘土混り砂礫	暗黄茶	最大径φ200mm前後. φ5～80mm程度の円,亜円レキ主体. マトリックスは粘性土及び砂系よりなる. レキ種は安山岩,砂岩等多い. 浮石散在. 部分的に砂分多い. 含水(小).
79.06	16.90	1.65	火山灰質粘土	茶褐	鉄分,浮石混入. 腐植物少混入. 下部若干砂分混入 含水(大～小)
78.16	17.80	0.90	凝灰質シルト	黄茶灰	有機物,浮石混入. 若干粘性帯びる. 含水(中).
77.16	18.80	1.00	粘土	暗灰	腐植物,浮石少混入 雲母片散在. 含水(中)
	20.35			暗黄褐	
75.06	20.90	2.10	シルト	乳青灰	雲母片,浮石散在. 上層酸化性強い. 下部軟凝固状 φ5mm角レキ点在. 含水(小)
73.96	22.00	1.10	粘土混り砂礫	暗黄茶	最大径φ150mm前後 φ5～80mm円レキ主体. マトリックスは粘性土及び砂系. レキ種はチャート,安山岩,砂岩.
67.74	28.22	6.22	砂質凝灰岩	乳黄灰	全体に強風化状呈し極軟質. 上部転石状に硬状示すところあり. 浮石,黒雲母散在. コアー採取率5%. RQD＝0% コアーほとんどスライム状となり、一部のみ片状コアーとなる.

標準貫入試験

深さ m	打撃回数/貫入量 cm	10 cm	20 cm	30 cm
1.15～1.45	3/30	1/15	1	1/5
2.15～2.60	2/45	1/28	1/17	
3.15～3.70	1/55	1/55		
4.15～4.48	4/33	1	1	2/13
5.15～5.45	3/30	1/17	2/13	
6.15～6.45	3/30	1	1	1
7.15～7.47	4/32	1	1	2/12
8.15～8.45	2/30	1/20	1	
9.15～9.53	1/38	1/38		
10.15～10.50	4/35	1/13	1	2/12
11.15～11.22	50/7	50/7		
12.15～12.45	46/30	16	13	17
13.15～13.41	50/26	15	15	20/6
14.15～14.45	34/30	13	11	10
15.15～15.45	13/30	6	3	4
16.15～16.45	28/30	6	9	13
17.15～17.45	15/30	4	4	7
18.15～18.45	6/30	2	2/12	2/8
19.15～19.45	8/30	2	3	3
20.15～20.45	13/30	5	4	4
21.15～21.30	50/15	30	20/5	
22.15～22.28	50/13	30	20/3	
23.15～23.45	14/30	4	4	6
24.15～24.45	21/30	6	6	9
25.15～25.45	15/30	5	4	6
26.15～26.45	23/30	6	7	10
27.15～27.35	50/20	10	40	
28.15～28.22	50/7	50/7		

N 値



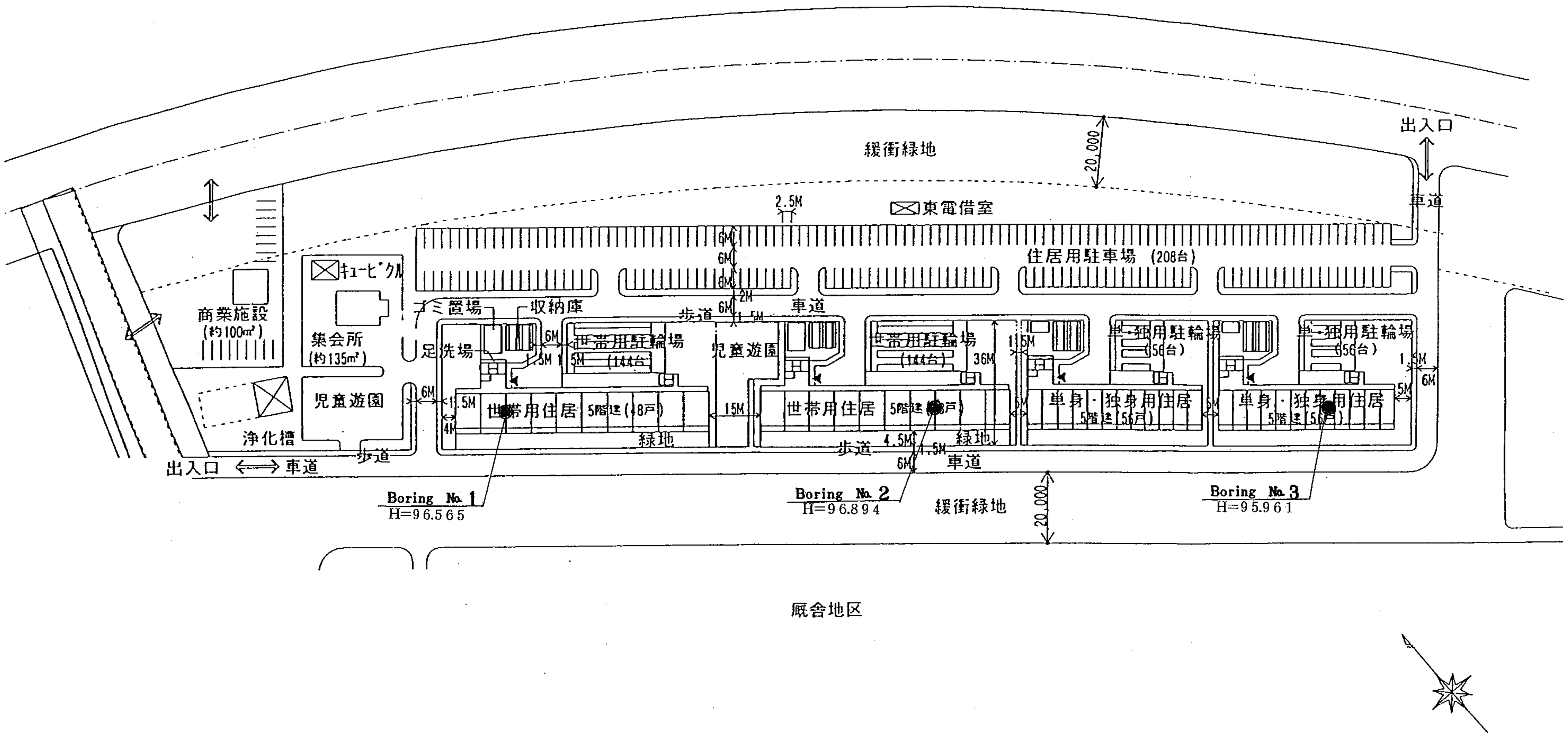
試料採取：試料番号　深さ m　採取方法

備考：

試料採取方法の記号
- ◉ デニソン型サンプラー
- ● シンウォールサンプラー
- ⊕ フォイルサンプラー
- ○ 貫入試験用サンプラー
- × その他

厩舎ゾーン

(住居地区)


緩衝緑地
20,000
出入口
車道
2.5M
東電借室
住居用駐車場 (208台)
6M
2M
1.5M
キュービクル
商業施設
(約100m²)
集会所
(約135m²)
ゴミ置場
収納庫
歩道
足洗場
世帯用駐輪場
(144台)
児童遊園
単身・独身用駐輪場
(56台)
36M
15M
世帯用住居
5階建(48戸)
単身・独身用住居
5階建(56戸)
浄化槽
緑地
4.5M
Boring No.1
H=96.565
Boring No.2
H=96.894
Boring No.3
H=95.961
厩舎地区

土 質 柱 状 図

報 告 用 紙

調査名・調査地点　新競馬場住居棟（世帯用）整備工事地質調査

標高　96.565 m

調査年月日　9 年10月 6 日～ 年10月15日

ボーリング孔：No. 1

孔内水位　GL－8.70 m

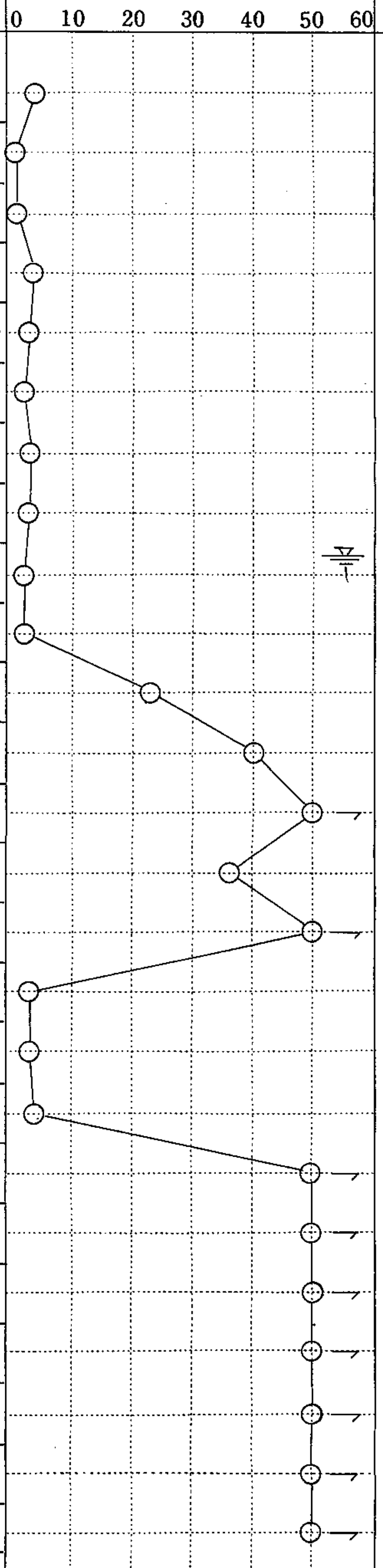
調査担当者

現場観察記録

標高 m	深さ m	層厚 m	土質名	色調	記事
96.06	0.50	0.50	表土	黒褐	腐植物、有機物混入ローム系粘性土.
94.81	1.75	1.25	ローム	茶灰	スコリア少混在. 粘性強い. 下部砂分混入し軽石点在. 含水(中)
93.21	3.35	1.60	軽石	黄橙灰	粒径φ1～10mm程度の団粒状. スコリア混入 含水(大).
85.41	11.15	7.80	ローム	茶灰	上部砂分少混入. 浮石、スコリア散在. −7.00m付近 凝灰質性(多孔質)帯び、軽石点在. 部分的に粘土分多い. 下部若干シルト性帯び含水多い. 含水(中～高位).
84.86	11.70	0.55	礫混り細砂	暗黄灰	粒径均一. 石英雲母散在. 所々薄層状にφ2～20mmの円レキ多混入し、砂レキ状となる.
80.81	15.75	4.05	粘土混り砂礫	暗黄茶	最大径φ140mm前後, φ5～70mm程度の円、亜円レキ主体. マトリックスは、粘性土及び砂系. レキ種は砂岩、安山岩等多い. 浮石散在. 含水(中～高位)
	17.00			乳黄灰	
	17.80			乳黄緑	
77.76	18.80	3.05	凝灰質シルト	乳黄灰	黒雲母、輝石混入. 上部酸化性強く褐色帯びる. (粘性強い). 含水(大). 中層部より層状ほぼ新鮮.
	23.00			淡黄緑灰	
	23.30			黄灰	
71.96	24.60	5.80	砂質凝灰岩	乳～淡黄灰	砂分全体に混入. 硬軟状態不一定. 所々玉石状に若干硬状示すが、全体に極軟質. コア採取率50～70%程度. RQD=15～40%. 下方にしたがい亀裂少ない. 最大コア長25cm. コア全体に5～15cm程度の棒状. 含水(小). コア細片、細レキ状となるもの多し.
71.29	25.27	0.67	砂質泥岩	灰～暗青灰	全体に軟質なるも、亀裂少なくコアー棒状となる. 細粒砂多混入. 浮石少点在. 最大コア長45cm 採取率100%. RQD=90%

標準貫入試験

深さ m	打撃回数/貫入量 cm	10cm	20cm	30cm
1.15～1.45	4/30	1	2/14	1/6
2.15～2.45	1/30	1/30		
3.15～3.55	1/40	1/40		
4.15～4.46	4/31	1	2/15	1/6
5.15～5.46	3/31	1/12	1	1/9
6.15～6.47	2/32	1/18	1/14	
7.15～7.47	3/32	1/12	1	1
8.15～8.46	3/31	1/11	1	1
9.15～9.55	2/40	1/27	1/13	
10.15～10.49	2/34	1/20	1/14	
11.15～11.45	22/30	8	7	7
12.15～12.45	40/30	13	12	15
13.15～13.44	50/29	10	13	27/9
14.15～14.45	37/30	9	12	16
15.15～15.33	50/18	30	20/8	
16.15～16.48	3/33	1/11	1/11	1/11
17.15～17.45	3/30	1/15	2/15	
18.15～18.48	4/33	1/12	1	2/11
19.15～19.25	50/10	50/10		
20.00～20.06	50/6	50/6		
21.15～21.30	50/15	32	18/5	
22.15～22.23	50/8	50/8		
23.15～23.35	50/20	21	29	
24.15～24.21	50/6	50/6		
25.15～25.27	50/12	35	15/2	



試料採取

試料番号　深さ m　採取方法

備　考：

試料採取方法の記号
● シンウォールサンプラー
○ 貫入試験用サンプラー
◉ デニソン型サンプラー
⊕ フォイルサンプラー
× その他

土質柱状図　報告用紙

調査名・調査地点　新競馬場住居棟(世帯用)整備工事地質調査　　標高　96.894 m　　調査年月日　9年10月8日～　年10月13日

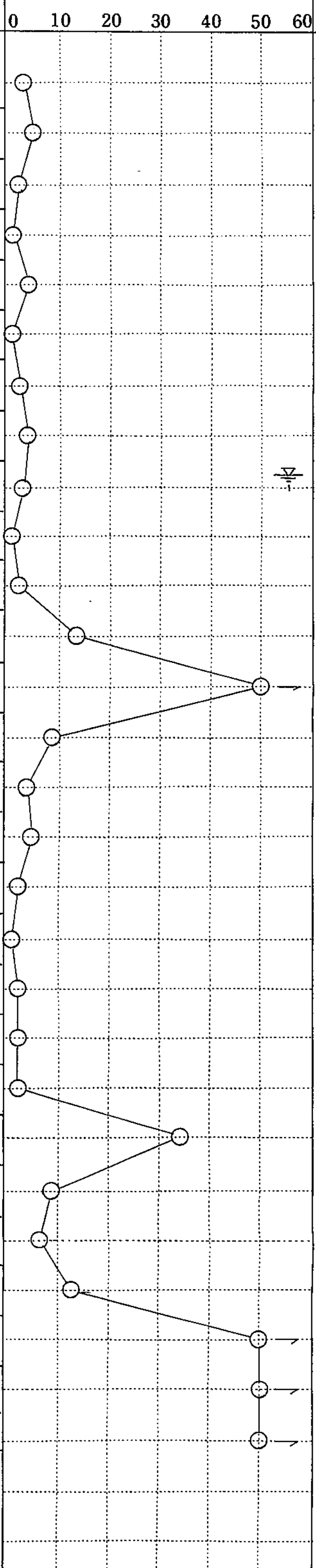
ボーリング孔：No. 2　　孔内水位　GL－8.80 m　　調査担当者

現場観察記録

標高 m	深さ m	層厚 m	土質名	色調	記事
95.69	1.20	1.20	埋土	暗黄灰～黒灰	シルト系粘性土、コンクリート塊、アスファルト片、レキ、殻等よりなる。
95.34	1.55	0.35	表土	黒褐	腐植物、有機物混入、風化ロームよりなる。
93.89	3.00	1.45	ローム	暗茶灰～茶灰	浮石少混入。スコリア混入。粘性強い。含水(中位)。
92.54	4.35	1.35	軽石	黄橙灰	粒径φ1～10mm。スコリア少混入。含水(大)。
84.54	12.35	8.00	ローム	茶灰(～8.80)、黄茶灰	浮石、スコリア散在。−5.00m付近より凝灰質性帯びる。部分的に粘性強い。−9.00m付近若干含水多く、軽石多散在。−10.00m付近よりシルト性帯びる。下部多孔質。−12.20mより砂分多混入。
82.99	13.90	1.55	粘土混り砂礫	暗黄灰	最大径φ120mm前後、φ5～60mm円、亜円レキ主体。マトリックスは粘性土及び砂系。レキ種は石英質安山岩、砂岩、安山岩等。
81.89	15.00	1.10	火山灰質粘土	茶褐	含鉄分、スコリア混入。凝灰質状呈す。含水(小)。
80.09	16.80	1.80	粘土	黄茶灰	鉄分、浮石混入。φ5～10mm小レキ点在。若干ローム性帯びる。含水(中)。
76.69	20.20	3.40	粘土質シルト	黄茶灰	浮石散在。−18.00m付近より凝灰質状を呈す。含水(大)。
75.19	21.70	1.50	凝灰質シルト	黄茶灰	浮石、スコリア、黒雲母散在。含水(大)。若干粘性強い。
70.99	25.90	4.20	礫混り粘土	暗黄茶(～22.70)、乳黄灰	φ5～80mm程度の円、角レキ散在。砂分混入。所々レキ分多混入し砂レキ状を呈す。含水(中)。凝灰質性帯びる。
70.59	26.30	0.40	砂礫	暗黄灰	最大径φ60mm前後。φ2～40mm円、角レキ主体。マトリックスは砂系。
68.70	28.19	1.89	砂質泥岩	暗緑灰(～26.90)、暗灰	全体に風化性強く軟質。浮石混入。上部コアースライム状。−27.00m以深コアー棒状に採取。コアー採取率40%、RQD=10%、最大コア長約20cm

標準貫入試験

深さ m	打撃回数/貫入量 cm	10 cm	20 cm	30 cm
1.15～1.47	3/32	1/12	1	1
2.15～2.48	5/33	1	2/12	2/11
3.15～3.55	2/40	1/23	1/17	
4.15～4.55	1/40	1/40		
5.15～5.47	4/32	1	1	2/12
6.15～6.55	1/40	1/40		
7.15～7.55	2/40	1/26	1/14	
8.15～8.49	4/34	1	1	2/14
9.15～9.47	3/32	1/11	1/11	1
10.15～10.46	1/31	1/31		
11.15～11.46	2/31	1/19	1/12	
12.15～12.45	13/30	2	4	7
13.15～13.42	50/27	16	21	13/7
14.15～14.45	9/30	2	3	4
15.15～15.47	4/32	1	1	2/12
16.15～16.47	5/32	2/12	2	1
17.15～17.49	2/34	1/21	1/13	
18.15～18.45	1/30	1/30		
19.15～19.48	2/33	1/21	1/12	
20.15～20.47	2/32	1/18	1/14	
21.15～21.47	2/32	1/22	1	
22.15～22.45	34/30	3	6	25
23.15～23.45	9/30	3	4	2
24.15～24.46	7/31	2/15	2	3/6
25.15～25.45	12/30	4	4	4
26.15～26.43	50/28	17	24	9/8
27.15～27.22	50/7	50/7		
28.15～28.19	50/4	50/4		



試料採取（試料番号・深さ m・採取方法）

備考：

試料採取方法の記号
- ● シンウォールサンプラー
- ○ 貫入試験用サンプラー
- ◉ デニソン型サンプラー
- ⊕ フォイルサンプラー
- × その他